みのり NEWS

外部向け情報誌

生活介護･就労Ｂ型＆グループホームの情報誌

2023 6/7	6・7月号	社会福祉法人みのり福祉会 令和５年５月31日発行

【発行】 社会福祉法人みのり福祉会
多機能型支援施設みのり･グループホーム
＜本部＞
〒350－1305
埼玉県狭山市入間川 3273－23
TEL：04-2954-8566
FAX：04-2954-2646
e-mail：t-minori@bell.ocn.ne.jp
HP：http://www.minori-fukushi.or.jp/

ホームページはこちらから！
ブログも絶賛更新中！

あおぞらいちば　≪令和５年度が始まりました≫

令和５年度が始まり、はや１ヶ月が経ちました。

現在は４年度事業の報告をまとめている最中ですが、みのり福祉会各事業所は、運営上大きな変化はなく、感染防止策が日常になっている状況での安定した運営が行えました。

一方、多機能みのりとグループホームにおいては、コロナ陽性者への対応に定期的に追われ、振り返ってみると、ニュースなどで出た第〇波のピーク後数週間で緊急対応をしていた状況でしたが、これも濃厚接触者特定などの対応をせざるを得ない状況での出来事であり、大きな事故やクラスターもなく運営は安定して行えてきたところです。

さて、この５月８日を持ち、コロナ感染症も５類に引き下げられ陽性者対応についても濃厚接触者の特定がなくなったため、施設運営としては陽性者や感染状況のみを注視し、安全な施設運営への対応をとることとなり、地域と疎遠になっていた活動を少しずつ元に戻していけること等、５年度運営については明るい兆しが差し込んでいます。

多機能みのりでも、さおり織やドングリアートなど創作活動を地域へ発信することが今まで以上にできるため、作品を日課活動でたくさん生み出している最中です。作業室は、さおり織作品に囲まれた部屋、ドングリアートが所狭しとおかれたスペースなど、作り手(利用者さんと職員)の息吹を感じれる場所となっており、小さな美術館に入ったような感動とわくわく感がとまりません。利用者さん個々の感性や日常を目に見える形にしていき、作品として残し、発信していく職員のアイデアと寄り添う力にも脱帽と感動を覚え、益々明るい兆しが見えるところです。

小さい頃は、12月31日と翌日の１月１日では、気持的にも行動的にも大きな違いがあり、昨日と今日では自分の見ている世界が大きく変わっていたように感じていました。年を重ねていくと、その差は日常の昨日と今日と何ら変わることなく、ただ節目という日であることだけで、世界は変わらないことに気づきます。

５月の７日と８日の違いも同様であり、コロナ禍と騒がれることなく社会経済活動を中心とした話題へ変化していくのでしょうが、感染力の強さや感染経路は明白になっていること、高齢者へのリスクは高いことなど、判明していることへの対応は変わることなく、この節目の日を迎え、過ぎていく日々を大切に送りたいと考えます。

理事長　坂本光雄

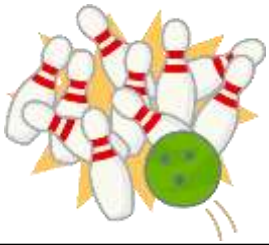
入所式を行いました

西村（にしむら） 英毅（ひでき）さん
おめでとうございます！

新年度が始まり、多機能みのりに新たに 1 名の利用者さんが入所されました。今年度は所属となる班の部屋で入所式を行いました。新入職員と一緒に、あたらしい年度の始まりをお祝いしました。

新しい環境での生活は大変かと思いますが、これから一緒に楽しく過ごしていきましょう♪西村さん、ご入所おめでとうございます。

ボウリング大会にみのり福祉会が出店しました



NHK 杯第 56 回全日本選抜ボウリング選手権大会が市内の新狭山グランドボウルで開催され、19 日（金）・20 日(土)の二日間、みのり福祉会が出店しました！

こもれび班の様子・・・

生活介護こもれび班が、B 棟から A 棟2階に活動場所が変更になりました。
ペースが似ている方が多いので、部屋の中はとても静かで落ち着いた空間です。
皆さんのんびりと過ごされています。運動、創作など、ペースにあわせて少しずつ活動を広げていく予定です！